

議会報

第119号

平成19年6月

ぎかいほう

編集・発行 長南町議会広報特別委員会

〒297-0192 千葉県長生郡長南町長南2110 TEL 0475-46-3390(議会事務局)



町の花 ベニバナ



第1回臨時議会

- 長生郡市合併協議会の設置 2

第2回臨時議会

- 議長等議会人事が決定 2

第1回定例議会

- 平成19年度予算など28議案を可決 5
- 平成18年度補正予算 9
- 一般質問 10
- 議会閉会中の継続調査 12
- 広域議会の報告 15

第1回臨時議会

平成19年第1回臨時議会が3月28日に招集され、長生郡市合併協議会の設置に関する協議及び平成19年度一般会計補正予算について、審議しました。審議の結果、原案のとおり可決しました。

長生郡市合併協議会の設置を可決

茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町及び長南町の合併に関する協議を行うため規約を定め、長生郡市合併

協議会を設置することに ついて原案どおり可決しました。この協議会は、

市町村長、議長、議会の合併問題調査特別委員、学識経験者、千葉県知事が推薦する県職員1名の計44名で構成されます。

平成19年度一般会計補正予算(第1号)

長生郡市合併協議会の設置に伴う長南町分の負担金を補正するものです。

第2回臨時議会 議長等議会人事が決定

一般選挙後の初議会が5月8日に招集され、議長、副議長をはじめ各常任委員会委員、議会運営委員会委員、議会広報特別委員会委員及び行政委員会の委員等を決定しました。

就任あいさつ



議長 葛岡 郁 男



副議長 古市 善 輝

平成19年第2回臨時議会におきまして、私どもは、議員各位のご推挙を受け、議長並びに副議長に就任いたしました。

さて、各地方自治体とも厳しい財政運営を強いられている状況であります。行財政改革、少子高齢化対策等の山積する諸課題に対し、精力的に取り組んでいかなければならないと考えております。

また、現在長生郡市合併協議会が設置され、来年4月1日の合併を目指し、各種調整事項について活発な論議が展開されております。

合併は、分権型社会の転換に対応し、町が自立した総合行政体に進化するために、また、人口減少、少子高齢化社会の進展、地域経済の活性化、国・県・市町村を通じた巨額な財源不足な

ど、この地域の抱える課題の克服や活性化のためにも必要不可欠であると考えております。この重要な時期に、議長、副議長という要職に就くこととなり、改めてその職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いをしているところであります。

公正の立場を堅持しつつ、円滑なる議会運営を常に心がけ、町民の皆様のご意見やご要望を町政に反映させるべく、最大限の努力をいたす所存でございます。

今後とも、町議会に対しましてご理解、ご協力をお願い申し上げます。



<p>総務企業常任委員会</p> <p>総務課、企画財政課、税務課、ガス課、会計課、議会事務局、選挙管理委員会及び監査委員、他の常任委員会に属しない事項を所管します。</p>	<p>産業建設常任委員会</p> <p>産業振興課、生活環境課、農業委員会、建設課、その他産業建設行政に関する事項を所管します。</p>	<p>教育民生常任委員会</p> <p>教育委員会、その他教育行政に関する事項、住民課、保健福祉課、その他社会福祉に関する事項を所管します。</p>
--	---	---

改選後の初議



委員
相 忠男



委員
松崎剛忠



委員
葛岡郁男



委員
金杉とみ



副委員長
和田和夫



委員長
松崎 勲



委員
今井三郎



委員
岩崎重良



委員
古市善輝



副委員長
丸島なか



委員長
今関 文平衛



委員
吉野明夫



委員
丸 敏光



委員
石井正己



副委員長
古山武夫



委員長
花崎哲也

議会運営委員会委員

〈7名を選任〉

議会運営委員会は、議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会条例等に関する事項、議長の諮問に関する調査を行い、議案、陳情等を審査します。

- 委員長 丸 敏光
- 副委員長 松崎 勲
- 委員 花崎 哲也
- 委員 今関 文平衛
- 委員 金杉 とみ
- 委員 古市 善輝
- 委員 岩崎 重良

議会広報特別委員会

〈5名を選任〉

議会広報特別委員会は、議会の内容を広く住民に伝えるため、調査、検討を行い、「ちようなんまち議会報」を発行するものです。

- 委員長 古山 武夫
- 副委員長 和田 和夫
- 委員 丸島 なか
- 委員 古市 善輝
- 委員 今井 三郎

合併問題調査特別委員会

長生郡市合併問題の調査研究、検討を行うため、全議員で構成する合併問題調査特別委員会を設置しました。

- 委員長 相 忠男
- 副委員長 丸 敏光
- 委員 全 議 員

長生郡市広域市町村圏組合議会議員

〈2名を選任〉

長生郡市広域市町村圏組合は、共同処理することが効果的である水道、廃棄物の処理及び清掃、消防、病院、火葬場・斎場の設置及び管理など郡、市民の生活に密着した業務を行っています。

議長の職にある者

葛岡 郁男

議会において選挙された者

今井 三郎

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員

〈1名を選任〉

医療制度改革により、75歳以上の高齢者医療については、平成20年4月1日から、県内全市町村が加入する広域連合が運営する独立した保健制度に変わり、千葉県内の市町村から各1名の議員を選出し、高齢者医療の適正な運営を図るものです。

議会において選挙された者

岩崎 重良

議会議員会役員

〈9名が就任〉

議会議員会は、議員の品位識見を高めるとともに、議員相互の親睦を図り、議会の運営を円滑にすることを目的としています。

- 会長 今井 三郎
- 副会長 今関 文平衛
- 会計 石井 正己
- 監事 吉野 明夫
- 理事 丸島 なか
- 理事 松崎 敏勲
- 理事 丸島 剛忠
- 理事 松崎 剛忠
- 理事 花崎 哲也
- 体育部長

人事案件監査委員の同意

議員の中から選任される監査委員に岩崎重良議員を選任

したいとして、町長から提案され、同意しました。

専決処分を承認する

税条例の一部改正

■ 地方税法の一部が改正され、主な内容は次のとおりです。

○住民税関係

株式等の配当や譲渡益に対する軽減税率の適用期限が延長されました。

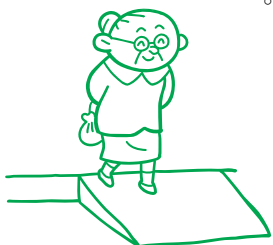
○固定資産税関係

高齢者や障害者等が居住する既存住宅をバリアフリー改修した場合に、固定資産税を減額する特例措置が創設されました。

退職議員の紹介

永年、町発展のためご尽力いただいた古市叔司様、田中一男様の2名が任期満了により退職されました。

今後も引き続き地域発展のため、ご活躍されますようご期待申し上げます。



自治功労表彰を受賞

～議員在職15年以上～



前列左から相議員、吉野議員
後列左から松崎議員、葛岡議員、古市議員

町村議会議員として地方自治振興に貢献された功績が認められ、平成19年2月6日に開催された全国町村議会議長会の定期総会において、本町の相 忠男議員、吉野明夫議員、松崎剛忠議員、葛岡郁男議員、古市善輝議員の5名が受賞されました。

受賞された5名の議員からは、あつという間に15年という月日が流れ、今日に至りました。これも町民の皆様方のご支援とご協力によるものです。これからも住民福祉向上のため精一杯がんばりたいと抱負が述べられました。

第1回定例議会

平成19年度各会計当初予算など28議案を可決する

平成19年第1回定例議会は、2月28日から3月9日までの10日間の会期で開かれました。平成19年度当初予算をはじめ平成18年度の補正予算、条例の制定・一部改正、道路線の廃止・認定など28議案を審議しました。

平成19年度一般会計予算については、内容が複雑多岐にわたるため、予算特別委員会を設置し、詳細な審査を行い、審議の結果、全議案原案のとおり可決しました。一般質問は2名の議員が行い、論議が展開されました。

一般会計予算

51億3,000万円

《前年度比12・7%増》

平成19年度予算にあたっては、国・県の予算編成方針、地方財政計画を参考に、3ヶ年実施計画に位置付けされた、平成21年度までの事業のうち、特に学校、道路関係の事業について、重要度、緊急性を考慮し、21年度までの財政見通しを立て、当面、財政調整基金を中心に各種

基金の活用を図る中で、先取りして事業展開する予算が編成されました。これは、住民からの要望をより早く、効果的、効率的に対応・完了させるため、21年度までの期間を一単位の事業年度として捉え、財政状況を十分勘案する中で、住民要望に応えようとするものです。

主な事業は、本町独自の少子化対策としての乳幼児医療費助成の自己負担額無料化、土木費においては、道路改良、橋梁整備事業、教育費においては、前年度に引き続き、中学校の建設工事及び教育施設整備事業等が主なものとなっています。

【質疑】

問 巡回バス委託料が50万円増となっている理由と前回との変更点は何か。また、スクールバスとしての検討はできないか。

答 変更点は4コースに分かれていたものを2コース連続コースとし、街中の医療機関や金融機関への利便性を確保しました。50万円増の理由は、利用増を図るため、巡回バスを使った「町探訪」などのモデルコースを創り、土曜、日曜に実施するための経費です。巡回バスの運行については、基本的な考え方があり、児童については遠距離通学児童地域が対象となっています。学校側とは現在の運行方法の中でお互いのすりあわせをしていきたいと考えています。

問 農地・水・環境保
全向上対策事業の内
容と地区の選定理由及び実
施地区はどこか。

【答】

水路、農道、農地などの農業用施設を地域の農業者や農業者以外の人たちで協同活動により維持・保全する事業でその活動を支援する事業です。実施地区の選定理由は地

元からの希望であり関原、東部、西部営農組合など10地域です。現在、その地域に適した計画書等のマニュアルを示し、協議しています。

【会計別当初予算の内訳】

会 計		平成19年度予算額(千円)	伸 率 (%)	
一 般 会 計		5,130,000	12.7	
特別会計	国民健康保険	1,043,400	12.7	
	老人保健	1,217,100	△2.5	
	介護保険	819,000	6.6	
	笠森霊園事業	323,450	289.7	
農業集落排水事業		237,200	4.6	
企業会計	ガス事業	収益的収入	585,530	14.7
		収益的支出	585,802	14.1
		資本的収入	35,931	16.3
		資本的支出	156,992	△9.4

【質疑】

農業集落排水
事業特別会計

問 農業集落排水処理場から発生する汚泥について、平成18年12月に農林水産省より肥料登録を受けたと聞いておりますが、肥料の成分、販売価格、生産量について伺います。

【答】

肥料の主な成分は、窒素・リン酸・カリ・炭素等で効果分析については、年1回行います。分析結果からは有害成分(砒素、カドミウム・水銀等)はありません。肥料は無料で、毎週木曜日の午後芝原処理場で配布し、発生する汚泥は月で2トンです。

ガス事業会計

問 内管の白ガスの改善状況は。また、大口供給を開始したことから収益も多くなっていると思うので、起債の償還もあるが、白ガスの改善を行ったらどうか。

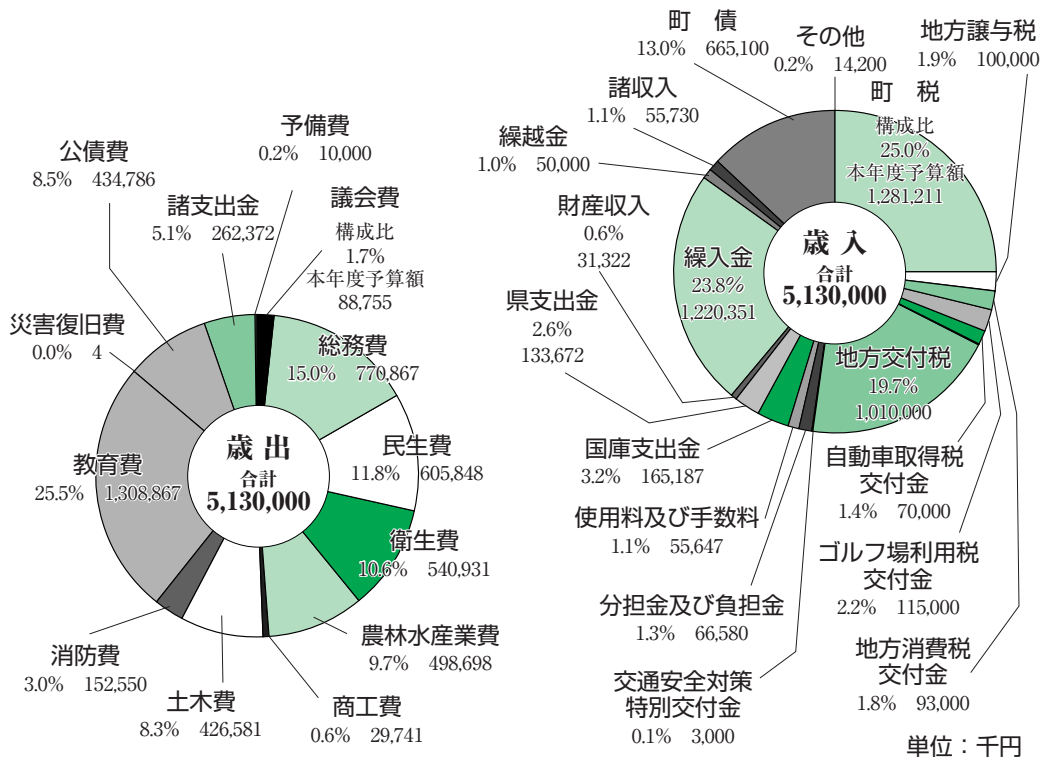
【答】

需要家戸数は2,740戸で、改善済戸数1,710戸で達成率では、62.4%です。白ガスの改善については、経済産業省の指導により、2020年までとなっています。中期経営計画の中で計画的に実施していきたいと考えています。



肥料登録を受け毎週木曜の午後無償で配布

一般会計予算状況 51億3,000万円



予算特別委員会

委員長

葛岡郁男

予算特別委員会は3月5日に議長を除く17名で設置しました。

平成19年度一般会計予算の内容は複雑多岐にわたっており、慎重かつ詳細に審査する必要がありますと認め、総務企業、産業建設、教育民生の3つの分科会を設置し、3月6日、7日に執行部の出席を求め、書類審査と現地調査を行いました。3月8日に3分科会の審査結果報告を求める中、次の意見・要望を付し、議案第21号平成19年度一般会計予算は賛成多数をもって、原案のとおりこれを可決すべきものと決定しました。

意見要望事項

1 税源移譲に伴う個人住民税に未納が生ずることのないよう、制度の周知を図るとともに、国・県との連携を強化し、未納者の解消に努められたい。

2 野見金牧場跡地については、合意事項に基づき返還し、地元による維持管理に移行されたい。

3 非常備消防団員の活動及び確保については、地域の実情を踏まえ、広域消防本部及び消防団と十分な整備調整を図られるよう要望する。

4 平成19年度から実施される農地・水・環境保全向上対策については、制度の趣旨が地域住民に浸透し、農業資源の保全・向上の有効な取り組みとなるよう推進されたい。

5 本年度は、道路改良・舗装・排水・橋梁整備等の事業量が多いことから、実施にあたっては計画的に執行されるよう努められたい。

6 適正な汚水処理の整備を図るため、農業集落排水の接続率の向上と、他地域における合併処理浄化槽の普及促進に、より一層努めら

れたい。

7 幼稚園施設は町の貴重な財産であり、有効活用に向け、早期に検討されたい。

8 医療制度改正内容を解りやすく周知するとともに、包括支援センターと連携して、高齢者が安心して生活できるように努められたい。

9 圏央道の供用開始が見込まれる中、通学道路の歩道整備を推進され、登下校時における児童生徒の危険防止を図られたい。



予算審査する教育民生分科会

条例・一部事務組合に関する協議関係

《制 定》

■ **地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例**

地方自治法の改正により平成19年4月1日から「助役」は「副町長」に「収入役」は廃止され、「会計管理者」を置くこととされました。また、「吏員その他の職員」は「職員」に改められることから関係条例の改正をするもので、監査委員条例など4つの条例の一部改正を一括して行うものです。

■ **長南町副町長の定数を定める条例**

地方自治法の改正により助役に代えて副町長を置き、その定数は条例で定めることとされたことから条例を制定するものです。

■ **長南町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例**

今まで、電気・ガス・水の供給や不動産の契約に限って翌年度以降にわたり契約を締結することができましたが、地方自治法の改正により、パソコンなどのリース契約など翌年度以降長期にわたって物品を借り入れる場合にも長期継続契約ができるよう条例を制定するものです。

《一部改正》

■ **長南町職員定数条例**

長南町集中改革プランにおける定員適正化計画に基づき、簡素で効率的な行政事務を図るため、職員定数を削減するため条例の一部を改正するものです。

■ **職員の勤務時間、休暇等に関する条例**

民間企業の勤務形態において、休息時間に相当する制度がほとんど普及していないことから国・県に準じて条例の一部を改正するものです。

■ **長南町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例**

■ **教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例**

行財政改革を推進する目的で、昨年引き続き給料の削減を実施するため、条例の一部を改正するものです。

■ **長南町一般職の職員の給与等に関する条例**

特別職及び教育長と同様、行政改革による削減及び千葉県人事委員会勧告に基づき少子化対策に配慮した職員手当を支給するため条例の一部を改正するものです。

■ **長南町教育施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例**

この基金により中学校校舎等の改築工事に着工することができ、さらに実施計画に位置付けられている小中学校施設整備まで、この基金で計画的に進めていくことができるため、残る基金を一般の財政調整基金に移し、これまで控えてきた農林・土木事業あるいは災害等に備えるため、条例の一部を改正するものです。

■ **長南町重度心身障害者の医療費助成に関する条例**

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

《一部事務組合に関する協議》

■ **千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議**

千葉県後期高齢者医療広域連合が設立されたことにより組織団体が増加すること及び北総西部衛生組合が解散することによる減並びに地方自治法の改正により会計管理者の設置等から協議するものです。

■ **長生郡市広域市町村圏組合規約の変更に関する協議**

地方自治法の改正に伴い字句の訂正、条文の整理が必要となり関係地方公共団体と協議するものです。

補正予算

一般会計(第4号)
1億3,934万8千円
を減額

長南中学校校舎等改築事業に係る補助金等の確定に伴う継続費の変更、各種事務事業の精算、老人保健特別会計への繰出し、教育施設整備基金繰入金の減額及び財政調整基金への積み立てを主に補正をするもので、

補正後の総額は45億5,022万6千円です。

【質疑】

問 バス運行補助金40万円の減額の理由をお伺いします。

答 小湊バス坂本路線への運行補助金であり、会社側で囑託の活用などで赤字額減少に努めた結果、補助金が減額となったものです。

問 債務負担行為の固定資産画地認定基礎資料作成事業の補正内容について、お伺いします。

21年度の評価替えに向け、18年度から20年度までの3ヶ年の債務負担でお願いました。契約後の業者との打ち合わせの結果、調査を早期に終了させ、20年度は内部事務を行うこととしたので、期間変更、契約額による限度額の補正をしたものです。

答 21年度の評価替えに向け、18年度から20年度までの3ヶ年の債務負担でお願いました。契約後の業者との打ち合わせの結果、調査を早期に終了させ、20年度は内部事務を行うこととしたので、期間変更、契約額による限度額の補正をしたものです。

国民健康保険特別会計(第3号)
4,769万2千円
を増額

精算に伴う財源の組み替えと保険給付費において、過去に例を見ない入院件数、日数の増による補正をするもので、補正後の総額は9億9,866万9千円です。

老人保健特別会計(第1号)
2,599万1千円
を減額

当初見込みより受給者数の減少に伴い、医療給付費の減少による補正をするもので、補正後の総額は12億2,270万9千円です。

介護保険特別会計(第4号)
1,225万1千円
を増額

通所系居宅サービスの増、超過交付を受けた過年度分国庫支出金の返還金を主に補正をするもので、補正後の総額は7億4,282万2千円です。

笠森霊園事業特別会計(第2号)
561万3千円
を増額

事務事業及び工事費関係の精算と墓所使用料の増額分を財政調整基金に積み立て補正をするもので、補正後の総額は8,786万5千円です。

農業集落排水事業特別会計(第2号)
166万4千円
を減額

事務事業の精算による補正をするもので、補正後の総額は2億2,495万4千円です。

道路線の廃止及び認定

山内ダム用地として使用されたことに伴い、山内地区において1路線を廃止するものです。また、埴生川Ⅲ期地区で整備された水沼地区と岩撫地区の連絡道1路線を町道として認定するものです。



水沼と岩撫を結ぶ連絡道

一般質問

和田 和夫 議員

耐震診断・改修へ町の支援を

問

千葉県は、昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震化率を9割に引き上げる千葉県耐震改修促進計画を公表。平成20年度までに地震ハザードマップの公表を市町村へ求め、耐震診断の補助事業へ支援を行います。

耐震改修促進計画の作成時期と対象の全建物数とその内の公共施設数と耐震診断の実施状況について伺います。また、耐震診断・改修に、町が助成制度をつくり支援をしたらと思いますが、町長の考えをお伺いします。

平成20年度までに作る計画で検討へ

答 町長

県が本年3月までに作る耐震改修促進計画策定を参考に、町は平成20年度を目標に計画を作ります。

耐震診断、改修の努力義務対象の民間建築物はなく、庁舎1棟が対象です。昭和56年以前の建築物は、民間4、173棟、公共28棟、合わせて4,201棟です。公共施設の耐震化は、中学校新築工事が終われば、小・中学校のすべての耐震性が確保されます。耐震診断、耐震改修の補助制度は、耐震改修促進計画を作る中で検討します。



重度心身障害者の食事補助の継続を

問

県独自の重度心身障害者医療助成事業は、4月から入院時1食260円の負担補助を打ち切り、8月からは世帯単位で所得制限を導入します。事業を町が続けるように提案します。

また、長南町は結核・精神療養費助成制度があり、安心して医療が受けられています。合併してもこの制度を継続し、患者の命と健康を守るようにしていただきたいと思いますが、町長の考えをお伺いします。

補助制度の廃止は8月からに延期

答 町長

食事療養費への補助廃止は、対象者への周知が時間的に不十分な事や規則整備も必要で、長生管内で協議の結果、実施時期を本年8月にします。

結核・精神病医療費助成は、新市での実施に、課題も

あるが、今までの協議経過を踏まえた中で、継続事業として実施できるよう努めます。

合併の是非は住民投票で決定を

問

合併協議のスケジュール及び市町村合併に対する意見募集を町が独自で行い、前回と同様に、集落ごとに説明会を開催する必要があると思います。また、住民投票や合併の是非を記入できる受取人払いのハガキ等で、住民の意思で合併を決める事ができるようにしたらと思います。町長の考えをお伺いします。

町民の代表の議会と協議し判断します

答 町長

合併協議会設置を経て、平成19年4月に法定協議会を立ち上げ、4月中旬に第1回法定協議会の開催予定です。協議が進んだ中で、1カ所又は複数カ所での説明会を考え、集落ごとの開催は状況により判断します。

町民の代表である議会と協議し、合併の最終判断を行います。今現在は住民投票もしくは住民アンケートの実施は考えていません。

古山 武夫 議員

道路整備について

問

平成21年度には圏央道の(仮称)茂原・長南インターが供用開始する予定であり、町内の交通量の増加が想定

されます。交通量の増加に対応するため長南バイパスの整備を計画しているところですが、長南バイパスの進捗状況はどのようになっているのか。

また、バイパスの進捗状況との関わりもありますが、現実の問題として、特に児童生徒の交通事故対策の面

から既存の国道409号及び
 県道長柄大多喜線の交通安全
 対策は急務であると思いま
 す。町としてどのように考え
 ているか、お伺いします。

引き続き県に要望します

答 町長

長南バイパスについては、
 県が事業主体となって整備し
 ている延長1900メートル
 の2車線道路ですが、用地買
 収が終了している部分は役場
 近くから坂本方面に向けて4
 00メートルであり、買収率
 としては15パーセント程度で
 す。今後は、財政的なことも
 ありますので、一つ一つ財政
 的な裏付けを得る中で、県に
 早期に進めていただけるよう
 強力にお願いしてまいりたい
 と考えております。

国道409号及び県道長柄
 大多喜線の交通安全対策につ
 いてですが、財政的に許すこ
 とであるならば早急に実施し
 ていただくことを県にお願い
 する以外にないわけであり、
 引き続き県に要望してまいりま
 す。

農業問題について

問

長南町全体の農地面積に対
 する現在の営農組織のキャパ
 率は約24パーセントであり、
 残りは未利用地等もあります
 が、多くは小規模といわれる
 程度の面積を「機械がこわれ
 るまで」「身体が続く限り」
 と頑張っている状況もありま
 す。これら小規模農業者に対
 しては最終的には大規模営農
 組織への加入、耕作委託等を
 促さなければならぬところ
 ですが、大規模営農組織への
 加入、耕作委託までの期間、
 自分で農業を継続したいと考
 えている者に対し、機械及び
 作業の共同化、小規模営農組
 織設立のための補助制度また
 は情報提供等ができないか、
 お伺いします。

今後も支援していきま
 す

答 町長

平成19年度から始まる国の
 新たな経営安定対策において
 国は大規模営農者や集落営農

組織に対して支援をしていく
 としていきます。本町では、東
 部営農組合他の営農組織、機
 械の共同利用を中心とした小
 規模営農組織に対して補助金
 の交付をはじめとし支援して
 きたところであり、今後も支
 援をしてまいります。

現在の農林業振興補助金要
 綱でも新たに営農組織区域外
 で小規模営農組合を設立する
 場合は支援できることとなっ
 ています。現段階では、小規
 模のものについては、機械の
 共同利用希望、実態に沿った
 ところの情報提供、各種案内
 もしてまいりたいと考えてお
 ります。



まもなく完成する西部ライスセンター

健診事業について

問

健康で長生きは誰しもの願
 いであると思います。健診を
 疾病の早期発見にとどめるだ
 けでなく、予防への動機付け
 の機会ととらえ町民が年1回
 は必ず受診するよう事業を推
 進されているところですが、
 財政的効果等から集団健診が
 主であり、集団健診の場合は、
 日時、場所が指定されるため
 当該日に受診することができ
 ないという場合があります。
 そこで、健診の機会を町で実
 施する集団健診だけでなく、
 一般の医療機関においても本
 人の一部負担を導入すること
 を前提に受診できる制度は検
 討できないかお伺いします。

今までどおり集団健診
 です

答 町長

町では現在、都市医師会や
 県民保健予防財団等の協力を
 得ながら、町民の健康管理の
 ため基本健診や各種がん検診
 を保健センターを中心に実施

しています。実施にあたって
 は、医師会をはじめ関係機関
 と協議し日程を決め、該当者、
 希望者に状況によりそれぞれ
 実施日時をお知らせしていま
 す。都合により指定日時に受
 診できない場合は、都合のよ
 いほかの実施日に受診できる
 こととしております。

平成19年度においては、既
 に医師会と協議も終了してい
 ることから、今までどおり集
 団健診で実施してまいりたい
 と考えております。



閉会中の継続調査報告書（要約）

税の収納対策について調査

総務企業常任委員長 丸 敏光

総務企業常任委員会は、議会閉会中の継続調査として「税の収納対策等について」を案件とし、平成18年11月24日・25日の2日間にわたり静岡県由比町を視察しました。

さて、由比町の町税収納率ですが、平成17年度決算では現年課税分99・5%、滞納繰越分46・8%、全体では99・0%で静岡県においてトップの収納率でありました。

税収確保のための取り組みでは、職員一人での訪問徴収、口座振替の推進、町補助金等の交付後収納の3点に特徴がありました。町民の納税意識や口座振替率の高さもあり高収納率につながっていると思慮されたところです。

由比町の高収納率の一端を担う口座振替率は、住民税70%、固定資産税85%、軽自

動車税66%、国民健康保険税89%、全体では約78%が振替納税となっていました。この振替率を高めるため広報誌へ掲載して周知を図るほか、直接納税者を訪問し手続をお願いする方法や転入者には住民課窓口で口座振替申込書を配布し依頼するなど、積極的に呼びかける対策が取られていました。近年では、振替納税が進み収納体制が整備されたことで、税務課職員は8名から6名に削減されているようです。

税務課では6名の職員で効率的な徴収を行うため、毎週水曜日を徴収日と決め、午前・午後に分かれて訪問徴収にでかけるとのことでした。窓口業務があることから職員一人での徴収も行われていました。最近では水曜日だ

けでは訪問しきれない状況もあり、月10程度はでかけるそう。職員一人での徴収にいく回数も大幅に増えているとのことでした。

また、特徴ある取り組みとして、町が交付する補助金・助成金の交付後収納が行われていることです。これは、町が交付する補助金について、補助担当課は交付対象者、交付額、交付日を事前に税務課の決裁を得る仕組みで、この合議に基づき税務課で未納者リストとの照合を行い、未納者がいる場合には補助金が交付される前に訪問し、交付を受ける補助金の全額又は一部を納付する約束をさせ、収納に結び付けていく内容でした。

由比町の行っている職員一人での訪問徴収、補助金の交付後収納は批判を受けがちな徴収方法ではありますが、税収を確保していくためには必要な手段のひとつであると考えられます。

本町においても、限られた財源の中で多様化する住民ニーズに对应していくためには、自主財源である税収の確保は極めて重要であることから、

引き続き口座振替率のアップに取り組み、振替納税による収納体制を確立するとともに、より効果的で効率的な新たな収納対策の検討も必要があると感じました。

今回の視察が本町の収納対策の一助となり、今後の税収確保につながることを期待し報告とします。



税の収納対策について調査する総務企業常任委員会

農村環境保全の 取り組みについて調査

産業建設常任委員長 古市善輝

産業建設常任委員会では、議会閉会中の継続調査の案件を「農村環境保全の取り組みについて」として、平成18年11月21日・22日の2日間において新潟県魚沼市並びに同市の宇賀地域域保全会の調査を実施いたしました。

本町の基幹産業である農業は少子高齢化の波によりその持続的な発展と多面的機能の発揮が失われかけてきており、農業生産環境を維持することが求められています。

平成19年度から始まる国の新たな経営安定対策においては、農業の基盤となる農地・水・環境保全について支援策を打ち出しており、魚沼市においては、本事業の実験地域として取り組んでいることから本市の活動状況を参考とすべく選定いたしました。

魚沼市は、中山間地域が農地の半分以上を占めていること、農業従事者の7割が65歳以上を占めていることなどから担い手への集積がままなら

なく、農地の管理、維持に苦勞している状況とこのことで

平成19年度から新たに始まる農地・水・環境保全向上対策に、このような状況の打開策として大いに期待を持って市内の宇賀地域域を実験地域とし手を上げたとのこと

宇賀地域域は110haの区域で魚沼市の西部に位置し、魚野川と田河川左岸に開けた平野で、水稲を中心に、転作による花卉栽培も定着している中間農業地帯です。地域内の水田は、昭和43年から47年にかけて10から20ha区画で整備済みですが、現在は約70haで県営ほ場整備事業を実施中であり、農業経営の安定を目指す一方、従来から水路法面の植栽活動を実施するなど、景観形成に対する協同活動が盛んな地域です。

地域内のほぼ中央には「宇賀地小学校」が位置し、東西に縦断する国道17号と、その

沿線に住宅地が広がっており、今後も国道沿線の宅地化が予想されています。

このような状況下で本地域では良好な農村景観を保全するとともに、学校教育と連携した自然や生き物に対する環境保全を図ることにより、集落機能の維持と定住人口の拡大を図り、地域の活性化につなげたいということから、「宇賀地域域資源保全会」を設立いたしました。

活動組織の構成は地域交流型とし魚野川左岸用水管理組合を中心に農家組合、用水組合、自治会、小学校PTA、老人会、土地改良組合等20団体が地域内で連携して活動を実施しています。

環境資源の向上については、雑草の防除にヒメイワダレソウの植栽や水路を活用した小魚や鯉等の自然飼育をPTA、老人会が実施しています。

また、生産資源の向上については、農家組合、用水路管理組合が中心となり農道や水路の草刈・泥上げなどを実施し、基礎的活動については自治会、農家組合、用水管理組合、土地改良区が中心となり

用水機場やパイプラインなど施設の点検、補修を実施しています。

本町においても基幹産業である農業の永続的な持続と農地の持つ多面的機能、集落機能の維持を図るために地域ぐ

るみの協同活動と、農業者ぐるみでの先進的な営農活動を一体的に進める必要があると痛感したところであり、本制度を活用し活力ある農業生産基盤づくりに努められたいと望みます。



農村環境保全の取り組みについて調査する産業建設常任委員会

窓口業務の対応について調査

教育民生常任委員長 金杉とみ

教育民生常任委員会は、議会閉会中の継続調査として「窓口業務の対応について」を案件とし、平成18年11月24日・25日の2日間にわたり、静岡県由比町を視察いたしました。

さて、由比町の戸籍の電算化については、平成17年10月1日に改製され、3日に稼動いたしました。

電算化事業の中で特に苦労した点は、従前の戸籍に記載されている内容の疑義照会であったそうです。従前の戸籍は、担当者の文字の書き方の癖や好み、又は略字による読みにくい文字も多く、また、記載事項である届出や出生などの年月日、氏、名、地番、身分事項欄などの誤記・脱漏などの確認も大変であったそうです。これが他の複数の市町村に関連したものであると、更に時間がかかったそうです。

これらは職権で訂正されたとのことですが、すべての誤

記・脱漏を発見し、訂正できたことも電算化の大きな成果であったということでした。また、従前の戸籍に記載されている「氏」及び「名」で、

俗字・略字などの文字を使われている方々に、「電算化に伴い、国語辞典あるいは漢和辞典等にある文字で表記」する旨のお知らせに対する問合せにも苦労したということでした。

更に、稼動後の業務の中で、由比町以外の住所地の229市区町村長（1,457件）



窓口業務の対応について調査する教育民生常任委員会

への改製通知も大変だったということでした。

電算化後の住民の方々の評判は、「記載書式が縦書きから横書きの簡条書きになって、見やすく読みやすくなった。」という意見が多かったものの、高齢の方からは「従前の方が戸籍らしく、重みがある。」という意見もあったそうです。

電算化による住民サービスの向上については、『待たせない』を基本姿勢とされ、窓口のお客様から「え、もうできたの」と驚かれることもあったそうです。特に、相続関係で出生からすべてを請求した場合でも、関連戸籍が一度に検索できるので、2時間ちかくも待たせなくて済むようになったということでした。このように、戸籍事務の一元化

により、安全で迅速かつ正確な窓口業務ができ、住民の方々から大変喜ばれているということでした。

行政の事務効率化については、18年度に職員1名を減らし、19年度では機構改革により、総合窓口体制を図る計画であるということでした。

本町の戸籍の電算化は、19年2月3日に改製され、5日から稼動しておりますが、稼動後の事務も残っておりますので、迅速かつ適切に処理されることを望みます。

また、住民課の窓口業務だけでなく、全庁的な窓口対応の改善に努められ、『あいさつ、笑顔』を基本とし、住民の方々に喜んでもらえるサービス向上に取り組まれることを期待して、ご報告とさせていただきます。

広域議会の報告

広域議会議員 今井三郎

平成19年第1回長生郡市広域市町村圏組合議会は、平成19年2月7日から2月22日ま

での16日間の会期で開かれま

した。本定例会では、平成18年度

の各会計補正予算をはじめ、管理者から平成19年度の施政方針が示される中、各会計予算が提出され所管の常任委員会が付託を受け審査を行った結果、各委員会とも全員の賛成をもって原案のとおり決定し、委員長から審査の経過と結果について本会議で報告がなされ、全員の賛成をもって原案のとおり可決されました。

なお、各会計予算に対する委員会の主な質疑応答は、次のとおりです。

《一般会計》

問 可燃物処理費の委託料について、委託業者をどういう基準で選定しているのか。

答 可燃物処理費の運転管理委託業務は高額であるが特殊な業務とすることによってラントメーカーに随意契約で委託しています。県下に同様施設



設が25箇所あり、この内4箇所が入札を行っています。県下の状況を調べ、入札に移行できるか検討したい。

問 消防費について、救急車の走行距離が伸びているようだが、どのくらい伸びたのか。また18年度で一番遠い搬送先はどこか。また時には救急車が直ぐに来られない状況があるようだが、その実態はどうか。

答 救急出動は本年の見込みで約7,500件。また長生郡から出ている件数は17年度で1,770件、18年度は2,200件位の見込みです。遠い所は亀田病院、帝京病院、千葉県循環器病センター、旭中央病院などで主には亀田病院で、走行距離も今までは1台あたり年間3万kmくらいであったが中央署と本納分遣所においては年間4万kmから5万kmとなっています。救急車が遅れる理由は、救急車の出動する頻度が多いことと、搬送先が遠いことにより出払っている場合が多いことによるものです。

《特別会計火葬場・斎場事業費》

問 火葬場・斎場用地のうち賃借している面積とその割合は。また、その賃借料の単価は付近の土地と比較してどうか。

答 敷地面積は3万5,233㎡あり、借地は11・9%の3,651㎡、借地料は㎡当たり年間570円。建設当初と比べ土地評価も年々下がってきているが、契約書には契約期間が15年と明記されており、単価の見直しについては、3年ごとに年金のスライドの中で見直す決め事がある。従って現段階では、当初契約が平成6年であるので、平成21年以降の見直しとなります。

《水道事業会計》

問 収益的支出で、十九里水道企業団からの受水費が減額となっているが、基本水量をどのように見直したのか。また、自己水源である地下水の給水量が年々減少しているが、それは施設能力の限界なのか。

答 受水費は、日最大受水申込量による基本料金と年間使用受水量による使用料金の二重構成となっています。このうち基本料金は、3ヶ年ごとに契約更新を行っていきます。平成19年度からの3ヶ年は、過去の実績および水需要を想定したものです。また、自己水源については、施設の維持管理に努め有効に活用していきたい。

《病院事業会計》

問 新病院の建設場所の選定をどう考えているか。また、長生病院が救急患者を受け入れられない状況の中で、公立病院としての存在価値があるのか。

答 A・B棟が老朽化しているため、新病院の建設は必要と考えているが、現在その候補地は全く未定です。また、現在の長生病院の規模では、365日の救急医療は難しい。長生圏域内の救急をすべて受けるには、施設及び医療スタッフの充実が必要だ。

平成19年度

長生郡市広域

市町村圏組合予算

単位：千円

一般会計	5,886,763	
火葬場・斎場事業会計	301,916	
水道事業会計	収益的収入	5,590,734
	収益的支出	5,551,961
	資本的収入	746,174
	資本的支出	1,509,380
病院事業会計	収益的収入	3,830,956
	収益的支出	3,930,956
	資本的収入	344,986
	資本的支出	459,437



議会を傍聴してみませんか

傍聴の手続きは、受付簿に住所、氏名などを記入するだけです。

町議会では、皆さんの生活に密着した問題が審議されますので、あなたも議会傍聴にぜひお越しください。

平成19年第2回定例議会は、6月に開会されます。

日程等の詳しいことは、議会事務局（46-3390）へお尋ねください。

皆さんの声を町政に

議会では、町民の皆さんのご意見やご要望を町政に反映させたいと考えています。

議会に関するご意見や議会報を読んで感じたことをお寄せください。

おまちしています。

長南町議会



(古山 武夫)

議会活動日誌

平成19年

- 2/ 7 広域議会定例会（9・22日）
- 2/15 県議定会理事会
- 2/16 議員全員協議会
- 2/21 議会運営委員会
- 2/23 九十九里地域水道企業団理事会
- 2/28 第1回定例議会（～3/9日）
- 3/ 1 全員協議会・合併問題調査特別委員会
- 3/ 5 第1回予算特別委員会
- 3/ 8 第2回予算特別委員会
- 3/13 長南中学校卒業式
- 3/16 各小学校卒業式
- 3/23 郡町村議会議長会臨時会
- 3/26 幼保合同卒園式
- 3/27 議会運営委員会
- 3/28 第1回臨時議会
- 4/ 3 保育所入園式
- 4/ 6 各小学校入学式
- 4/ 9 長南中学校入学式
- 4/19 県議定会理事会
- 4/25 合併問題調査特別委員会
- 5/ 8 第2回臨時議会（初議会）
- 5/17 合併問題調査特別委員会
- 5/23 議会広報特別委員会
- 5/25 郡町村議会議長会総会
- 5/28 南部地区議会道路整備協議会総会
- 5/29 総務企業常任委員会協議会
- 5/31 合併問題調査特別委員会

図書カードが当たります!

3つの答えの中から正しいものを選びハガキに書いてお送りください。「議会報」を読めば分かります。

クイズ No.55

問1 平成19年第1回長南町議会臨時会はいつ開催されましたか。

- A 3月23日
- B 3月27日
- C 3月28日

問2 長生郡市合併協議会の委員構成は何名ですか。

- A 40名
- B 44名
- C 48名

問3 議会閉会中の継続調査で産業建設常任委員会が視察した県はどこですか。

- A 静岡県
- B 新潟県
- C 茨城県

〈応募方法〉

ハガキに議会報の番号、答えの記号（例、問1=A、住所、氏名、年齢、電話番号、職業（学）校名を記入のうえ応募してください。また議会報についてのご意見やご要望などを書き添えてください。全問正解者の中から、抽選で7名の方に図書カードをプレゼントします。

あて先

〒297-0192
長南町長南2110番地
長南町議会事務局
締め切り 平成19年6月30日
(当日消印有効)

前回の全問正解者数は、16名で正解は問1=C、問2=A、問3=Bでした。当選者の発表は、図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

季節の定まらない天候が続き稲作の生育が心配されましたが、田んぼの苗も緑を増し、力強く育っています。

先日、中学校の卒業式と入学式に出席させていただく機会がありました。いじめ問題に象徴される教育の荒廃が大きな社会問題となっているところですが、式典の進行にあたっては、卒業生・新入生・在校生の態度は立派であり、数十年前を思い出し感動すら覚えました。生徒がこの感動を忘れずに今後も精進することを願うところです。

4月の議員改選により議会報の編集委員も変わりました。町民の方々が読んでわかりやすく、町政に関心を持っていただけるような紙面づくりを心がけてまいります。議会報を読んでの感想、ご意見等をいただければ幸いです。